

都市再生整備計画事業 フォローアップ報告書

徳山駅周辺地区

平成28年 3月

山口県周南市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値		目標値		事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
		年度	年度	年度	年度	評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込				理由	改善策の方向性		
指標1	駅南北間の歩行者交流人口	人/日	1,162	H22	1,200	H26	1,245	確定 ● 見込み	○	あり なし	7,505	平成27年11月	○	南北地下道の閉塞に伴い、南北自由通路往来者数の計測としたため。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	南北自由通路、駅舎の完成及び南北地下道の閉塞により、南北の移動が円滑化された。
指標2	北口駅前広場の歩行者通行	人/日	4,131	H22	3,150	H26	2,297	確定 ● 見込み	△	あり ● なし	1,304	平成27年11月	△	駅ビル解体に伴う仮設道による歩行者動線の変化。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	駅ビル解体に伴う仮設道により歩行者動線が変化し数値が減少したが駅ビルや駅前広場の完成後は目標を達成すると推測する。
指標3	市道等のバリアフリー化率	%	41.0	H22	75.1	H26	75.1	確定 ● 見込み ●	○	あり なし	75.1	平成27年11月	○		<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	今後、駅周辺整備事業により更なる利便性の向上を図ることが必要である。

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値		目標値		事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
		年度	年度	年度	年度	評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	北口駅前広場の歩行者通行量(北東側)	人/日	2,826	H23			4,216	確定 ● 見込み		あり なし	4,126	平成27年11月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	南北自由通路が開通し、駅出入口が東側になったことによる歩行者動線は事後評価時点と比較し変化していないと考えられる。
その他の数値指標2	北口駅前広場の歩行者通行量(北西側)	人/日	1,675	H25			1,782	確定 ● 見込み		あり なし	1,805	平成27年11月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	通行量は微増となったが、広場西側の動線に変化はないと考えられる。

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 添付様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	中心市街地の活性化	まちづくり会社、商店街、地域住民によるまちづくりを推進し、行政は側面支援を行っている。	中心市街地の集客施設として、まちづくり会社などの共同出資による複合商業施設のオープン。	商店街等周辺への新規出店を推進。中心市街地への回遊性を高める。
	バリアフリー化の推進	バリアフリーに向けた各事業の継続的な推進を行っている。	各事業進捗率が上昇している。	徳山駅周辺整備事業の推進。
	歩いて暮らせるまちづくりの推進	民間、商店街、地域住民との合意形成を図るため、協議検討を重ねている。	活性化に向けた行政と民間の継続的な協力体制が構築されている。	魅力向上に向けたプランの事業化。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	拠点性の向上と中心市街地の活性化	核施設としての賑わい交流施設の整備を進めるとともに中心市街地への新規出店を誘導し、出店数増加を図るため民間事業者への支援。	活性化に資する各事業について具体的な検討を重ね、進捗を図った。	新徳山駅ビルの早期完成。徳山駅周辺整備事業の推進。
	バリアフリーを含めた交通結節点機能の改善	市街地周辺のバリアフリーを推進。また、南北自由通路及び駅橋上化の開通したことによる交通結節点機能の向上が図れた。	駅前広場を含めた駅周辺環境の整備に関し、具体的な検討を重ねた。	銀南街や市街地周辺のバリアフリーの推進。新徳山駅ビルの早期完成。
	歩いて暮らせるまちづくりの推進	中心市街地へ魅力ある店舗の新規出店を誘い、回遊性の向上を図った。また、社会実験や協議検討を踏まえたまちづくりを進めた。	行政と民間の継続的な協力体制が構築されているが、歩いて暮らせるまちづくりに向けたコンセンサスは得られていない。	歩いて暮らせるまちに向けて民間、商店街、地域住民との合意形成。

### 添付様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項